

## 医学系研究に関する情報公開について

西暦 2025年5月26日作成

下記の研究は、福岡リハビリテーション病院の医療倫理委員会から承認され、病院長の許可を得て実施するものです。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	MRI 検査画像を用いた汎用的な骨や周辺組織分離機能の開発及びその臨床有用性の評価
当院の研究責任者 (所属)	布川洋一(検査部放射線科)
研究期間	病院長許可日 ~ 西暦 2026年3月31日
調査データの該当期間	西暦 2020年1月1日 ~ 西暦 2025年12月31日
研究対象となる方	当法人MRI装置(福岡リハビリテーション病院/福岡リハ整形外科クリニック/福リハ西都クリニック スポーツ 整形外科)にて関節四肢等のMRI検査を施行した方
研究の意義と目的	<p>目的：本件研究では、福岡リハビリテーション病院より MRI 及び CT 画像を学習データとして収集し、富士フィルム株式会社が全身の様々な骨に活用できる骨分離エンジンの開発を目的とする。さらに、福岡リハビリテーション病院が骨分離エンジンとソフトウェアの有用性の評価を実施する。</p> <p>意義：従来の骨軟部領域の画像検査において、軟部組織の評価には MRI、骨性構造の評価には CT が使用されており、2つの検査画像が補完的に用いられている。</p> <p>昨今では、Bone Image MRI (グラジエントエコー法と呼ばれる撮像方法であり、複数のエコーを同時に信号収集し、その信号を合算、白黒反転する方法) が注目されており、CT のような画像を得ることができ、CT のような放射線被ばくがないため、若年者でも繰り返し検査が可能となっている。</p> <p>したがって、MRI 画像に対しても CT 画像で実施している 3次元画像解析システムの骨分離を実施する機能が求められており、汎用的に使用できる骨分離機能の開発の臨床的意義は大きい。</p>

<p><b>研究の方法</b></p>	<p>当法人MRI検査にて得られた画像データを活用し骨や周辺組織分離機能の開発(当法人MRI検査データを富士フィルム株式会社へ提供)</p>
<p><b>研究に用いる試料・情報</b></p>	<p>MRI画像データ</p>
<p><b>外部への試料・情報の提供</b></p>	<p>なし</p>
<p><b>個人情報の取り扱い</b></p>	<p>利用する情報は、匿名化(どのデータが誰のものかをわからなくすること)をします。個人情報を厳重に保護し、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も個人が特定されない形式で行います。</p>
<p><b>本研究の資金源 (利益相反)</b></p>	<p>本研究に関連し開示すべき利益相反にある企業等はありません。</p>
<p><b>お問い合わせ先</b></p>	<p>福岡リハビリテーション病院 所属 検査部放射線科  担当者: 布川洋一  電話: 092-812-1555(代表) 対応可能時間 平日 9:00~17:00</p>